6年 大久保 5年4年 東習 3年 MSS V

習志野市サッカー協会会長杯

2022年度習志野市サッカー協会会長杯が1月21日から2月23日まで、第一カッターフィールドほかで開かれた。

3年生は習志野MSS・香澄G、4年生は東習志野FCブルー、5年生は東習志野FCブルー、6年生は大久保SCが優勝を飾った。

3年生大会の決勝トーナメントを制した習志野MSS・香澄Gの西前圭眞キャプテンは「球際で負けないことを考えてみんなで大会に向けて練習し、優勝しようと臨みました。決勝戦では1点取られましたが、チームで3点取って、優勝できたからうれしかったです」と話した。

4年生大会の決勝トーナメントは、東習志野FCブルーが1―0で勝利した。米田尚生キャプテンは「決勝戦では危ない場面もありましたが、自分たちのサッカーができたと思います。決勝戦を含めて全試合無失点と、集中した守備ができたのがよかった」とコメントした。

5年生大会の決勝戦は延長戦の末、東習志野FCブルーが頂点に立った。芝田彪馬キャプテンは「市内大会を2連覇できたのでよかった。来年度はPKでも延長戦でもなく、点差をつけて勝ちたい」と語った。

6年生は12チームが4日間にわたるトーナメント戦で戦った。準決勝戦2試合はともに接戦。決勝戦は1点差ゲームを勝利した藤崎SCレッドとPK戦の末に勝ち上がった大久保SCとの対戦となった。ゲームは一進一退。大久保が前半に先制ゴール。両チームともに得点機をうかがうが、大久保が守り切った。

結城太支キャプテンは「習志野市最後の大会だったので『絶対優勝してやる！』という気持ちで大会に臨みました。準決勝戦、決勝戦ではみんなが集中していたので、勝てたのだと思います。優勝した時は、疲れが一瞬にして飛んでいきました」と喜びを語った。

大会結果は次の通り。

【3年生の部】

◇決勝トーナメント

▽準決勝戦

藤崎 4―2 鷺沼
MSS・G 4―0 習志野ホワイト

▽決勝戦

MSS・G 3―1 藤崎

①習志野MSS・香澄G②藤崎SC③鷺沼FC③東習志野FCホワイト

6年生の部優勝の大久保SC

6年生の部準優勝の藤崎SCレッド

5年生の部優勝の東習志野FCブルー

【4年生の部】

◇決勝トーナメント

▽準決勝戦

東習ブルー 5―0 MSS
藤崎レッド 3―1 大東

▽決勝戦

東習ブルー 1―0 藤崎レッド

①東習志野FCブルー②藤崎SCレッド③習志野MSS・香澄③大久保東FC

【5年生の部】

◇決勝トーナメント

▽準決勝戦

東習ブルー 4―2 大東アズール
大久保 0―0 藤崎レッド
PK 5―4

▽決勝戦

東習ブルー 0―0 大久保
延長 1―0

①東習志野FCブルー②大久保SC③大久保東FCアズール③藤崎SCレッド

【6年生の部】

◇トーナメント戦

▽1回戦

向山 2―0 鷺沼ブルー
MSS・G 2―1 谷津
鷺沼レッド 6―1 MSS・Y
藤崎ホワイト 4―0 大東

▽2回戦

藤崎レッド 13―0 向山
習志野ホワイト 1―0 MSS・G
大久保 3―2 鷺沼レッド
東習ブルー 5―0 藤崎ホワイト

▽準決勝戦

藤崎レッド 2―1 東習ホワイト
大久保 0―0 東習ブルー
PK 3―2

▽決勝戦

大久保 1―0 藤崎レッド

①大久保SC②藤崎SCレッド③東習志野FCホワイト③東習志野FCブルー

4年生の部優勝の東習志野FCブルー

3年生の部優勝の習志野MSS・香澄G

1年 大東・東習・MSS 2年 東習

1年生の部と2年生の部は、3カテゴリーにわかれて競われた。

【1年生の部】

▽カテゴリーⅠ

①大久保東FC・B②東習志野FC・B③習志野MSS・香澄A③藤崎SC・A

▽カテゴリーⅡ

①東習志野FC・A②鷺沼FC・A③東習志野FC・C③谷津SC・D

▽カテゴリーⅢ

①習志野MSS・香澄B②向山イレブンSC・A③大久保東FC・A③鷺沼FC・B

【2年生の部】

▽カテゴリーⅠ

①東習志野FC・A②習志野MSS・香澄B③藤崎SC・E③鷺沼FC・B

▽カテゴリーⅡ

①東習志野FC・B②鷺沼FC・A③向山イレブンSC・A③藤崎SC・D

▽カテゴリーⅢ

①東習志野FC・C②習志野MSS・香澄A③谷津SC・B③大久保SC

1年生の部カテゴリーⅠ優勝の大久保東FC・B

2年生の部カテゴリーⅠ優勝の東習志野FC・A

1年生の部カテゴリーⅡ優勝の東習志野FC・A

2年生の部カテゴリーⅡ優勝の東習志野FC・B

1年生の部カテゴリーⅢ優勝の習志野MSS・香澄B

2年生の部カテゴリーⅢ優勝の東習志野FC・C

サッカーフェスティバル開催

サッカー協会　生涯スポーツ掲げ

一般社団法人習志野市サッカー協会主催の「習志野サッカーフェスティバル」が3月4日、第一カッターフィールドで開かれた。

生涯スポーツとしてのサッカーを掲げ、子どもたちからシニアまで幅広い年代が集まり、好天にも恵まれ、広がる青空の下、芝生の上でサッカーを存分に楽しんだ。フェスティバルは秋津サッカー場（第一カッターフィールド）が開設40周年を迎えたことを機に催された。サッカー場は1982（昭和57）年に開設された。

第1部は市内のサッカーチームに所属する小学1年生を対象に「キッズ・サッカークリニック」が行われた。習志野市サッカー協会四種普及部のスタッフの指導で、習志野高校サッカー部の部員がサッカーに必要な動きなどを教えた。子どもたちは、普段とは違うメンバーと環境の中で、練習やミニゲームを楽しんだ。

第2部は「シニア・エンジョイサッカー」と題し、75歳以上のシニア選手のチームと、レディースのチームの合わせて6チームが、習志野シティFCとFC習志野の協力で交流戦を行った。シニアチームには80歳代の選手も所属。選手たちは元気にフィールドを走り、ボールを追った。

セレモニーで習志野市サッカー協会の佐々木竹男会長は「生涯スポーツとしてのサッカーを知ってもらおうと企画しました。明るく元気なまちづくりにつながるサッカー協会が一丸となった催しを楽しんでもらいたい」と挨拶した。

来賓には宮本市長、清水大輔市議会議長、小熊隆教育長をはじめ多くが出席。Jリーガーとして活躍し、ワールドカップ元日本代表キャプテンで、現在は公益財団法人日本サッカー協会の専務理事を務める宮本恒靖氏が招かれた。宮本氏は開設40周年に祝意を表し、習志野市に対し日本代表の練習場として使用してきたことにお礼を述べ、日本代表チームのユニフォームを宮本市長に贈呈した。

キッズ・サッカークリニック

シニアチームの対戦